平成30年度相馬市公立学校研究指導員会 資料

相馬市企業等見学・体験プログラム2018

キャリア教育を通して、将来をよりよく生きようとする子どもを育てるために ~ (案)



【監修】

相馬市教育委員会教育長 堀川 利夫

相馬市教育委員会学校教育課長 渡邉 義人

相馬市教育委員会学校教育課 主幹兼指導主事 松本 一宏

相馬市教育委員会学校教育課 課長補佐幹兼指導主事 寳 伸一

相馬市教育研究実践センター所長 管野 孝司

相馬市教育委員会

【編集委員】

相馬市立中村第二中学校 校長 恭司 佐藤 相馬市立飯豊小学校 教頭 村上 潤一 教頭 武澤 裕子 相馬市立磯部中学校 相馬市立大野小学校 教諭 伏見 哲矢 相馬市立中村第一小学校 教諭 屋仲 幸治 相馬市立中村第二小学校 教諭 稲葉 青田 相馬市立桜丘小学校 教諭 雅子 相馬市立八幡小学校 教諭 寺島美恵子 相馬市立中村第一中学校 教諭 山内 政俊 相馬市立中村第二中学校 教諭 千葉 正俊 相馬市立向陽中学校 唯野 教諭 幸司

あいさつ

本指導委員会では、相馬市教育委員会学校教育課の重点目標・努力目標の推進に寄与すべく、「キャリア教育の充実(企業等体験学習実施)」を重点的に捉え、平成30年度の研究テーマを「キャリア教育を通して、将来をよりよく生きようとする子どもを育てるために」とし、地元企業等と連携をより図ることを目指し、「相馬市企業等見学・体験プログラム2018」の作成に取り組んで参りました。

相馬市のキャリア教育では、「子どもたち一人一人が、生まれ育った郷土への愛着と誇りをもつとともに、 学ぶことや働くことの意義を理解し、地域を支え、心豊かに力強く生き抜く人づくり」を基盤としています。 また、相馬市のキャリア教育では、以下の5点を育てたい資質・能力としています。

- (1) キャリア教育で育てたい資質や能力を支える心
 - ① 自尊感情・自分を大切にする心
 - ② 他者を思いやる心・感謝する心
 - ③ ふるさとを誇りに思う心・郷土への愛着心
 - ④ 自ら学ぼうとする心(学習意欲)
 - ⑤ 何事にも粘り強く取り組み、あきらめない心
- (2) 人間関係形成・社会形成能力

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができると ともに、他者と協力・協働して地域の課題や社会に参画し、今後の社会に積極的に形成する力

(3) 自己理解・自己管理能力

自分が「できること」「意義を感じていること」「したいこと」について、社会との相互関係を保 ちつつ、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

(4) 課題対応能力

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力

(5) キャリアプランニング能力

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断していくキャリアを形成していく力

この度、各研究指導員が、上記のポイントを中心に地元企業等と協働して作成した「相馬市企業等見学・体験プログラム 2 0 1 8」をリーフレットにまとめました。このリーフレットを学校、学年、先生方の日々の授業や教育活動に役立てていただくとともに、地元企業等とのつながりを大切にした相馬市や地域づくりを支える子どもたちに育てていくための一助となるよう活用していただきたいと考えています。

最後になりましたが、私たちが研究・実践およびプログラムの作成をすすめる上で貴重なご指導・ご助言 を頂きました相馬市教育委員会教育長はじめ教育委員会、相馬市教育研究実践センターの皆様、各校長先生 方、地元企業等の皆様、関係各位に心より感謝申し上げます。

平成31年3月

相馬市公立学校研究指導委員会会長 佐藤 恭司



相馬市企業等見学・体験プログラム2018の活用



- ① 「企業等見学・体験」により、次のようなことが期待できます。(1) 子どもたちにとって
 - ①働くことの大切さや喜びを知り、達成感や責任感が身につきます。
 - ②コミュニケーションの大切さ、相手の気持ちを考えることの大切さを学びます。
 - ③社会人としての基本的な礼儀、あいさつ、マナー等を身につけることができます。
 - ④自分の個性や特性を知り、今後の生き方について考えるようになります。
 - ⑤自分の行動に責任をもてるようになり、自分に自信をもてるようになります。
 - ⑥見学・体験等を通して、大人の仕事に誇りをもつとともに、大人を見る目が変わります。
 - ⑦地域の人たちとの関わりを通して、今まで知らなかった地元のよさを深く再発見できます。

(2) 学校にとって

①実際の産業界等の知識や技術に触れるなど見学や体験の深まりによる教育的な効果が得られます。

(学ぶ意欲、職業選択能力や働くことに対する望ましい見方・考え方の育成)

- ②地域における学校の存在をアピールでき、学校教育に対する協力が得られるよう になります。また、教職員に対する地域の理解が深まります。
- (3) 企業・地域にとって
 - ①地域と学校との連携・協力を深め、社員、会社のモチベーションがアップします。
 - ②次代の職業人を育て、後継者を作るきっかけとなります。
 - ③子どもたちの理解、学校教育の理解が深まり、学校との関係づくりができます。
 - ④仕事の内容を理解し、子どもたちにかみ砕いて説明することによって、従業員の研修につながります。
 - ⑤企業のイメージ、知名度がアップします。

2]「企業等見学・体験」の基本的な流れ



う 学校と企業等との打合せ事項

- ①実施時期・時間・人数・移動方法及び実施内容を確認してください。
- ②学校側のねらい、受け入れ企業に期待していることをお伝えください。
- ③児童生徒への注意事項や確認事項(服装、持ち物、活動内容等)を確認ください。
- ④緊急時(事故・避難)の対応方法の確認をしてください。

キャリア教育受入企業等一覧(1/2)

<u>^</u>	*******	業務		受入	種別		受入	1回の	A alle tobe to	郵便	n. ==
1 37	種別	種別	見学	体験	総合	出前		受入数	企業等名	番号	住 所
1	誘致	製造	0				相馬市 中1全員	30名	株式会社IHI	976- 0001	相馬市大野台一丁目 2番地の1
2	誘致	製造		0			小5.6 中1.2	30名~ 40名	株式会社 I H I (プログラミング)	976- 0001	相馬市大野台一丁目 2番地の1
3	誘致	製造				0	中1.2	1クラス 要相談	株式会社 I H I (国際交流・英語教育等)	976- 0001	相馬市大野台一丁目 2番地の1
4	誘致	発電		0		0	小4.5.6 中1.2.3	50名 程度	そうまIHIグリーン エネルギーセンター	976- 0005	相馬市光陽二丁目 1番地の1
5	誘致	発電			0		小5.6 中1.2	20名	株式会社IHIソリューション 新事業統括本部	135- 8710	東京都江東区豊洲 3丁目1番1号 豊洲IHIビル
6	誘致	化学	0				小6 中1.2.3	15名程度	株式会社ADEKA	976- 0005	相馬市光陽一丁目 1番地の1
7	誘致	電子	0				小6 中1.2.3	25名~ 30名	株式会社アリーナ	976- 0006	相馬市石上字宝田69 番地
8	誘致	製造			0		小5.6 中1.2.3	30名 程度	オリエンタルモーター株式会社 相馬営業所	976- 0001	相馬市大野台一丁目 1番地の3
9	誘致	製造	0				小3~6 中1.2.3	30名	株式会社常磐谷沢製作所相馬事業所	976- 0005	相馬市光陽二丁目 2番地の6 相馬中核工業団地内
10	誘致	製造	0				小5.6 中1.2.3	10名×3 班	ソマ株式会社	979- 2512	相馬市柚木字一ノ坪 86番地
11	誘致	発電			0	* 1	小5.6 中1	最大 80名	相馬共同火力発電株式会社	976- 0042	相馬市中村字塚ノ町 65番地の16
12	誘致	発電	0				小1~6 中1.2.3	80名 程度	相馬共同火力発電株式会社 新地発電所	979- 2611	新地町駒ヶ嶺字 今神1番地の1
13	誘致	発電		0			中1.2.3	4名	相馬共同火力発電株式会社 新地発電所	979- 2611	新地町駒ヶ嶺字 今神1番地の1
14	誘致	製造	0				中1.2.3	30名	ニダック精密株式会社	979- 2512	相馬市柚木字一ノ坪 105番地の8
15	誘致	製造	0				中1.2.3	30名	フジモールド工業株式会社	976- 0003	相馬市塚部字新城下 44番地の6

相馬市教育委員会学校教育課

	Lm \/∠ +t.	hoh-		貝会字校教育課
電話番号	担当者	ľ	業務内容 (主なもの)	備考 (情報提供)
37-3712	職名 ・総務部課長 ・総務部	氏 名 ・関根 進 ・渡辺 美穂	航空エンジン部品製造	15名2班編制
37-3712	相馬事業所総務部	菅野 孝徳	プログラミング教育	職場体験も可 (5~6名)
37-3712	相馬事業所 総務部	菅野 孝徳	国際交流・英語教育	50分授業
相馬市役所 商工観光課 37-2134	・産業部商工観光課 ・ソリューション エンジニアリング部主査	・地域振興係 ・岩重 景	太陽光発電の活用 水素学習について 再生可能エネルギー	50名程度
03-6204- 7460	新事業統括本部 エンジニアリング 部長	中島 精一	燃料電池・太陽光・蓄電池 の活用 水素学習について	60分
38-8877	業務課長	阿部 栄洋	エンジンオイル等の添加剤 製造	中学生向け 1ヶ月前に要相談
36-0111	・工場長 ・製造部長	・照井 邦央 ・氏家 昌章	電子部品組立	60分程度
36-0501	業務部総務課長	渡辺 暁	モーターの製造	90分
64-2706	相馬事業所長	宍戸 隆秀	安全帯、換気用風管の製造	約60分
36-3502	工場長	大槻 幸市	貴金属・宝飾品製造及び発 電(売電)事業	60分~90分
36-1200	総務グループ 副長	菊地 誠	火力発電による電気の卸供 給事業	エネルギー・環境講座 *1 出前講座は要相談 *2 実施場所は発電所
62-4722	わくわくランド	スタッフ	火力発電による電気の卸供 給事業	新地発電所見学 *受入れ人数は要相談
62-2201	業務グルーブ 主任	泉田 かおり	火力発電による電気の卸供 給事業	新地発電所の 職場体験学習
36-6620	・係長 ・常務	・広瀬 裕司 ・岩崎 健司	防衛・航空・宇宙機器等に搭 載される精密鋳造品の製造	
26-3411	総務課主任	猪狩 治良	カメラレンズユニット製造	

キャリア教育受入企業等一覧(2/2)

~		業務		受入	種別		受入	1回の		郵便	
1 ジ	種別	乗務 種別	見学		総合	出前	対象	受入数	企業等名	番号	住 所
16	誘致	化学	0				中1.2.3	20名	ダウ・ケミカル日本株式会社	976-0005	相馬市光陽一丁目 2番地の3
17	誘致	化学	0	0			中1.2.3	5名	ダウ・ケミカル日本株式会社	976-0005	相馬市光陽一丁目 2番地の3
18	誘致	化学	0				小6 中12.3	30名	三星化学工業株式会社相馬工場	979-2511	相馬市蒲庭字孫目 280番地
19	誘致	化学	0				小5.6 中1.2.3	10名	ハクゾウメディカルテクノス株式 会社	976-0005	相馬市光陽二丁目 2番地の1
20	地元	農業		0			小4. 5. 6 中1. 2. 3	要相談	ふくしま未来農業協同組合(JA ふくしま未来)	979-2442	南相馬市鹿島区横手 字川原185番地の1
21	地元	農業		0			小4. 5. 6 中1. 2. 3	3~4名	ふくしま未来農業協同組合(JA ふくしま未来)	979-2442	南相馬市鹿島区横手 字川原185番地の1
22	地元	農業				0	小1~6 中1.2.3	要相談	ふくしま未来農業協同組合(JA ふくしま未来)	979-2442	南相馬市鹿島区横手 字川原185番地の1
23	地元	農業				0	小1~6 中1.2.3	要相談	ふくしま未来農業協同組合(JA ふくしま未来)	979-2442	南相馬市鹿島区横手 字川原185番地の1
24	地元	水産	0	0	0		小3~6 中1.2.3	見学: 50人 体験: 10名	福島県水産資源研究所	976-0005	相馬市光陽一丁目 1番地の14

相馬市教育委員会学校教育課

	担当者	左		貝会字校教育課
電話番号	職名	氏 名	業務内容 (主なもの)	備考 (情報提供)
38-7801	工場長	立谷 重巳	イオン交換樹脂製造、純水 製造等	
38-7801	工場長	立谷 重巳	イオン交換樹脂製造、純水 製造等	職場体験学習
33-5131	業務係長	中山 正一	有機顔料製造 (印刷インキ等)	中学生向け
26-5148	工場長	福田 雅樹	消毒用アルコール綿製造、 医療機器	
67-2702	そうま地区本部 営農経済担当部	指導販売課	農業体験	120分
67-2702	そうま地区本部 営農経済担当部 直販課	荒 昌司	農業体験販売体験	120分
67-2702	そうま地区本部 地域支援課 地域支援係	佐藤 文宏	農業体験 (プランター・畑での野菜 作り)	90分
67-2702	そうま地区本部 地域支援課 地域支援係	佐藤 文宏	米粉料理教室 (蒸しパン・うどん ・ピザ・ゆべし等)	90分
32-0330	生産部総括	大和田 淳郎	種苗生産の見学・体験	現在,施設を再建設中。 本格的な再開は,31年 度。見学・体験の受け入 れは,31年の秋(早くて 夏)予定。

						相馬市企	業等見学	・体験学習プログラム2018
企業等	名称		株式	完社 IHI			担当者 職·氏名	総務部課長・関根 進 総務部・渡辺 美穂
情		〒976-0001					電話番号	0244-37-3712
報	住所	扣 医士士取	台一丁目2番	0244-37-3731				
		相馬甲入野	一一 月 日 2 番	miho_watanabe@ihi.co.jp				
企業等 の概要 ジェットエンジン部品, ガスタービン部品の製造および宇宙開発関								· 郑品製造
Ħ	拖可能 寺期		6	5月~	受入可能 学年等	中学校1年生		
	グラム 重別	見学型	体験型	総合型	実施場所	相馬工場		
1 🛭	回に受入す	可能な人数	30名	1日に可能 実施回数		2回 (午前1·午後1)	学習時間 (分)	2時間
			実施	可能学習	プロ・	グラム内	容(概要)	
Ħ	寺間			内	容			留意点
■事	前説明							,
13:00	:00~10:30 □空本部紹介DVD :00~13:30 □概要説明 (30分) 内容: ①IHIおよび航空宇宙事業について ②相馬事業所について							□会議室にて実施します。 □会社パンフレットを配付します。 す。
	学・体験							1
	~11:45 ~14:45	□相馬第1・	2工場を見学					□15名ごと2班編制,班ごとに担 当者1名および補助1名を配し
1時間	時間含め 間15分)							ます。 1班ルート:1工場→2工場 2班ルート:2工場→1工場 □工場内展示品を使用し,担当 者より説明します。
	とめ等	- 55 by Jake						
14:45	~12:00 ~15:00 5分)	□質疑応答						□見学を通して航空機につい ての質問に返答します。
する 注意 (学校/	を実施 る際の 意事項 への要望 ^事 項)	□工場内の	名ずつ2班編 白線は踏まな 見学時は担当	いようご協力	ください	\ \ ₀	お願いします	r.

						相馬市企	業等見学・	体験学習プログラム2018
企業等	名称	株式会	会社 IHI	I (プログ [・]	ラミン	グ グ)	担当者 職 · 氏名	相馬事業所 総務課 菅野 孝徳
情	〒976-0001							0244-37-3712
報	住所	拘用某个的	. エ H 93	E-HIII OD 1			FAX番号	0244-37-3731
干区	報					E-MAIL	takanori_kanno@ihi.co.jp	
	業等 既要	ジェットエ	ンジン部品	,ガスター	ビン語	部品の製造:	および宇宙[開発関連部品製造
	可能期	14	Fを通して学	ど校側の希望に対応			受入可能 学年等	小学校5年生~中学校2年生
	グラム [別	見学型	体験型	総合型		出前型 で実施する場合)	実施場所	相馬工場
1 回	に受入	可能な人数	30名~40名	1日に可能 実施回		午前中	学習時間 (分)	2時限分(90~100分)

実施可能学習プログラム内容(概要)

内 容

■ 見学・体験学習等

□ 小学生対象

◇プログラミング教育

- (1限目) ① IHI事業所紹介(15分程度)
 - ② 簡単なプログラミング基礎教育
- (2限目) ① 上記②プログラムでの工作機械(マシニングセンタ)を用いての UF0キャッチャー(IHI関連グッズ)操作の実践
- □ 中学生対象
 - ◇プログラミング教育
 - ※ 事前に各学校での事前プログラミング教育 (簡単なプログラム作成教育)
 - (1限目) ① IHI事業所紹介(15分程度)
 - ② 事前作成プログラミングの検証教育
 - (2限目) ① 上記②プログラムを用いた協働ロボットの操作の実践 例:協働ロボットを用いた習字等



<写真1 工作機械(マシニングセンタ)>



<写真2 協働ロボット>

■ 持参物・その他

- □ 筆記用具 事前プログラミング作成資料
 - ※ 職場体験(中学生)も可能(5~6名)

航空機エンジン部品の製造工程補助作業

学習を実施 する際の 注意事項 (学校への要 望事項)

- □ ヘルメット・保護メガネの着用が必須となります。
- □ 対象人数に応じての事前のチーム分けを行い,プログラミング作成授業を実施します。
- □ IHI従業員の指示のもと,一緒に機械操作を行います。
- (学校への要 口 写真・ビデオ撮影はできません。

					相思	馬市丘	È業等見学·	・体験学習プログラム2018
企業等	名称	株式会社	t IHI	(国際交流・	英語教育等)	担当者 職・氏名	相馬事業所 総務課 菅野 孝徳
情		〒976-000	1				電話番号	0244-37-3712
報	住所	相里古七時	6台一丁目2章	釆州の1			FAX番号	0244-37-3731
		作场印入到		田地ツ1			E-MAIL	takanori_kanno@ihi.co.jp
	業等 既要	総合重工業	メーカー(航空	空•宇宙分野				
時	可能 期	1年を通していつでも対応可能					受入可能 学年等	中学校1・2年生
	ブラム 別	見学型	体験型	総合型	出前型学校で実施する	場合	実施場所	各学校
1回に受入		人可能な人数	1クラス ※要相談	1日に可能 実施回数	55 VI	談	学習時間 (分)	50分
			実施	可能学習	習プログラ.	ム内	容(概要)	
時	間			内	容			留意点
■事	前説	明等						
	学。/	本験学習等						
	5-7-1							1
【国際交流・英語教育等】 1時限(50分程度)を使用して講義を行います。 社会人としての英語能力や異文化理解の必要性を日常業務だけではなく、海外勤務や張を通した経験に基づきお話しします。 ※海外での苦労話やどのように英語を習得したか等の経験談を含みます。 航空エンジン製造事業に当り、図面が英文であり英語の習得は必須です。							メます。	
■ ま	とめ	等						
する 注意 (学校·	を際事の項の事項の	□授業可能 □1回に受力	な時間帯につ	ついては, 学 は, 学校側の		対応す	可能です。	大数でも対応可能です。

						±0 医±	· 人 ** ** ロ	* # FA * 13 1 004 0	
						相馬巾	1 企業寺兄	学・体験学習プログラム2018 ・産業部商工観光課 地域振興係	
企業	名称	そう	まIHI グリー	ンエネルギー	ーセン	ター	担当者 職・氏名	・ 佐来 部 間 工 銭 工 法	
等情		〒976−0005			電話番号	0244-37-2134(相馬市産業部商工観光課)			
報	住所	相匡市光陽		 ഗ			FAX番号		
	<u> </u>	プロッタット プロ協助	— 1 日 1 田 1 元	·/			E-MAIL		
のキ	業等 概要	太陽光発電	の「電力全量	有効活用」,	水素	社会へ向けた			
時	可能 財		5)	月~2月			受入可能 学年等	小学校4~6年生 中学校1~3年生	
	プログラム 種別 見学型 体験型 総合型 出前型 学校で実施する場合						実施場所	各学校	
10	に受入	可能な人数	50名程度	1日に可能 実施回数		2回 (午前1·午後1)	学習時間 (分)	2時間程度	
			実施	可能学	習プ	゚ログラム[内容(概要	要)	
時	間			内 :	容			留意点	
■事	手前説明	月等							
10分	分程度 □企業概要説明 内容:IHIおよびグリーンエネルギーセンターにおける 事業内容について。								
■ 見	見学∙体	験学習等							
10分 40分 40分 10~30億 体人で象よをる。	□体験・出前講座内容 ①燃料電池レーシングカート乗車体験 ※身長130cm以上 の分程度 の分程度 の分程度 ②燃料電池ラジコン操作体験 ③ソーラー&水素学習キッドを使った実験 ①②は、験・受講 数によっ。④は対 学年にって時間 変更す。 ③ソーラー&水素学習キット 実験 ③ソーラー&水素学習キット 実験 ③ソーラー&水素学習キット 実験						ブコン	□カート乗車は、体育館等の広い場所(シート等を敷くとタイヤの傷がつかない)、アスファルト等の路面が整備されている所が望ましいです。 □体験人数と時間により、①から④までをコースとして分け、時間毎にローテションで体験・講座を受ける形、または、いくつかを選択し体験・講座を受ける形を提案します。	
	ことめ等							Latter management	
- 学習: する 注意	10分程度								

				è業等見学·	・体験学習プログラム2018		
企業等	名称	株式会	社 IHI ソリ:	ューション・新事業制	花括本部	担当者 職・氏名	新事業統括本部 ソリューションエンジニア部長中 島 精一
情		〒 135-8710)			電話番号	03-6204-7460
報	住所	市台教 江市	マ 典 捌っ十日	 1番地の1 豊洲H	The sta	FAX番号	03-6204-8715
		米尔伊江米	D B 2010 1 日	1年地の1 宮伽川	E-MAIL	seiichi_nakajima@ihi.co.jp	
	業等 既要	太陽光発電	電力の地産地	也消型ビジネスモデ	ル構築、余乗	間電力の水素	・熱への転換
	可能期		1年	手を通して		受入可能 学年等	小学校5~6年生 中学校1~2年生
	ブラム !別	見学型	体験型	(数合型)	出前型 で実施する場合)	実施場所	そうまIHIグリーンエネルギーセンター
1回	に受入	可能な人数	20名まで	1日に可能な 実施回数	要相談	学習時間 (分)	60分

実施可能学習プログラム内容(概要)

時間	内 容	留意点
P(T □)	l'1	田心示

■ 見学·体験学習等

□体験内容 ~こんな活動・実習が体験できます~ ◇燃料電池・太陽光・蓄電池他

□小学生対象:

- ① 太陽電池・蓄電池の性質についての学習
- ②水素・水素発生装置・燃料電池についての実験
- ③ 水素燃料カート体験
- ④ 現地設備の見学

□中学生対象:

- ① 再生可能エネルギーの利点と問題点についての学習
- ②水素・水素発生装置・燃料電池についての実験
- ③ 水素燃料カート体験・ 水素吸着合金タンクの充填体験
- ④ 現地設備の見学







〈水素燃料カート〉

〈25kw燃料電池〉

〈2500kwh 蓄電池〉

■ 持参物等

□ 筆記用具

学習を実施 する際の 注意事項 (学校への要 望事項)

- □水素(爆発物)を取り扱っているので火気は厳禁であるとともに、指示のない限りは装置には触れないでください。 指示には従ってください。
- □写真は基本的にはOKですが、NGの場所もあるのでとる前に適宜許可を取ってください。質問等は、 事前に提出(任意形式、FAX又は、メール)してください。
- □受け入れ可能な学校数:特に制限はありません。
- □時間帯に制限はありませんが事前に調整が必要です。東京からの出張対応になるので、できるだけまとめての受け入れを希望します。

						相馬市丘	≥業等見学·	体験学習プログラム2018	
企業等	名称		株式会社A	DEKA 相馬	工場		担当者 職·氏名	業務課長 阿部栄洋	
情		〒976-0005					電話番号	0244-38-8877	
報	住所	相馬市光陽-	一丁目1番の	1			FAX番号 E-MAIL	0244-38-8848 e-abe@adeka.co.jp	
	* <i>*</i>	ル学りし合う	のまけょ」	カーでナ 担!	東 丁 拝	見づけ白動亩			11
	企業等 化学品と食品の素材メーカーです。相馬工場では自動車 の概要 「アデカサクラルーブ」を製造しています。							イアに参加 9 の国情 田参加月	IJ
実施			事前にご	受入可能	小学校6年生				
プログ		事前にご相談ください。					学年等	中学校1~3年生	
種		見学型	体験型	総合型	(学校で	で実施する場合)	実施場所	相馬工場	
1回	に受入	可能な人数	15名程度	1日に可能 実施回数	_	2回	学習時間 (分)	60分程度	
			実施	可能学習	プロ	グラム内	容(概要)		
時	·間			内 :	容			留意点	
■事	前説明	, 明等							
10時	00分	□ 会社・工場	温説明					□会議室で実施します。	
(15		□見学時の						□会社案内・資料を配布しま	
(15))))							す。	
		験学習等							
10時	15分	□ 工場内見	.学					□ヘルメット、保護メガネを準	備
(30	分)							しますので着用願います。	
									_
_ •	とめ等								
]()時	45分	□ 質疑応答	-						
20.0	分)								
(15								事前にご連絡ください。試食に	
		•						中止します。	
			F-44.0	吐	7E1701	进 和 ~ 亚 - 1 —	TAL-X-		
			午後2	時より、午前と	こ同じに	時程で受入可	『能です。		
(15		□宝施希望				時程で受入可	J能です。		
(15			日の1ヶ月前に	時より、午前と こご相談くださ ご送付ください。	۱۷ ۰ _۰	持程で受入可	「能です。		
(15) 学習ぞ する)	際の	□質問等は □当社は児	日の1ヶ月前に 事前にメールで 童生徒の見学	こご相談くださ が送付ください。 どを想定したコ	い。 。 二場で			個所もあります。	
(15	際の 事項 への要	□質問等は □当社は児 十分な安全	日の1ヶ月前に 事前にメールで 童生徒の見学	こご相談ください。 で送付ください。 どを想定したコ	い。 。 二場で			個所もあります。	
]()時		□ 質疑応答							こけ

					相馬市介	È業等見学·	・体験学習プログラム2018
企業等	名称		株式会	:社 アリーナ		担当者 職·氏名	工場長 照井邦央 製造部長 氏家昌章
情		〒976-0006)			電話番号	0244-36-0111
報	住所	相馬市石上	字宝田69番5	也		FAX番号 E-MAIL	0244-36-8480
∧ *	¥ ^±			ku.saito@arena-net.co.jp			
企業 の概	-	電子部品組	立				
実施 時	期	特に指定	定なし(1ヶ月	前くらいに連続	絡してください)	受入可能 学年等	小学校6年生 中学校1~3年生
プロク 種		見学型	体験型	総合型	出前型 (学校で実施する場合)	実施場所	当社工場
1回	に受入	可能な人数	25~30名 程度	1日に可能 実施回数		学習時間 (分)	60分程度
			実施	可能学習	プログラム内	容(概要)	
時	間			内	容		留意点
■事	前説明	月等					
10時	15分	- A +1 #+.1					
(15	分)	□ 会社案内□ 見学の概					□会議室にて実施します。
			.安成奶 の注意事項詞	说明			□資料等を配布します。
		_ 70 1 17/7		,,,,			
		験学習等					
10時	30分	工場内見	•		olog of the public \		□各班10名程度に編成して下
(30	分)	□ 班に分か	れて製造ライ	ンの見字(35	灶程 度)		さい。(担当者1名を配置します)
		□ クリーンバ	/一ム見学	(エアーシャ	ワーの休験)		9)
			7 - 4	•			□見学は同時にスタートしま
		□ 組立ライン	/ 兄子	(加入蜆、嶼)	溦鏡の体験等)		す 。
■ ま	とめ等						
11	時	m sale i					
(15	分)	□ 質疑応答					
		□ 感想の発	表(各班代表	1名程度とな	:ります)		
			※ 午後1時	30分より、午前	前の部と同じで進行	Ť	
				N			
学習る	生実施		人内に事前に				
する	際の				内で使用します) むきに履き替えて頂き	きます。	
注意(学校~		- 30 E / 1 V	· /u 1 16 -1	,, _H		C 55 / 0	
望事							
		l					

						相馬市1	企業等見学	体験学習プログラム2018		
企業等	名称	オリエ	ンタルモータ	一株式会社	相馬事	業所	担当者 職·氏名	業務部総務課 課長 渡辺 暁		
情		〒976-0001					電話番号	(0244)36-0501		
報	住所	相馬市大野	台一丁目1番	:地の3			FAX番号 E-MAIL	(0244)36-0601 hiroyoshi@orientalmotor.co.jp		
	L 美等 既要	精密小型モ	ーター及び制	御用電子回	路の開系	&•製造• 販		mi o j osm o orientamiotori teorije		
	可能 期		10月	下旬~11月			受入可能 学年等	中学校1~3年生 小学校5~6年生		
	ブラム 別	見学型	体験型	総合型		前型 発施する場合)	実施場所	相馬事業所		
1 🗆	に受入	可能な人数	30名程度	1日に可能 実施回数		1	学習時間 (分)	90分		
実施可能学習プログラム内容(概要)										
時	間			内	容			留意点		
■事	事前説明等									
10時	00分	□企業の業						□会議室にて実施します。		
(30	分)		体験活動の構	既要説明 :項(安全指導	公)			□企業パンフ、資料等を配付し		
		□兄子に除	しての任息事	块(女生拍导	守)			ます。 □班ごとに整列して説明を聞き ます。		
■ 見	見学·体験学習等									
10時	15分			ターの仕組み	や基礎を	を学びます)		□6名ごと5班編制となります。		
(45	分)	□デモ機見: □工場見学	学(操作を体!	験できます)				班ごとに担当者1名を配置します。		
								□製造ライン要所で、担当者より説明を受けます。		
■ ま	とめ等									
11時	30分	□質疑応答						□事前提出の質問や新たな質		
(15	分)	□児童生徒	より感想発表					問・疑問等にも答えていただき ます。		
する 注意 (学校・	生実施 際の 事項 への要 事項)	□当社は、り						5願いします。 な箇所もあります。十分な安全指		

					相馬市	企業等見学	学・体験学習プログラム2018					
企業等	名称	株式会	会社 常磐谷	沢製作所 柞	11馬事業所	担当者 職·氏名	所長 宍戸隆秀					
情		〒976-0005)			電話番号	0244-64-2706					
報	住所	相馬市光陽	二丁目2番地	06 相馬中村	亥工業団地内	FAX番号	0244-64-2707					
	#£ /*/*	1,111,111,111,111		1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		E-MAIL	<u>h.sato@tanizawa.co.jp</u>					
	業等 既要	安全帯・風管	節の製造									
	可能期		3月~5月育	が半は除く(希	·望)	受入可能 学年等	小学校3年生以上 中学校1~3年生					
	ゲラム 別	見学型	体験型	総合型	出前型 (学校で実施する場合)	実施場所	相馬事業所					
1 🖸	に受入	可能な人数	30名	1日に可能 実施回数		学習時間 (分)	約60分					
			実旅	可能学習	ョプログラム[内容(概要	<u>.</u>)					
時	間			留意点								
■ 事前説明等												
		□企業説明		□場所:当社食堂にて行い								
					5. A.A.		ます。					
% 5-1	.0分	□見字に際□	しての注意事	項(安全指導	事等)		□食堂の人数制限があるた め事前説明は時間差で実施					
ポリ1	.07	口その他					の事前説明は時间左て美胞します。					
■ 見学・体験学習等												
約1	.0分	□風管製造	課において、	製造工程を見	見学します。		□班分けをして各々の課に分か れて見学します。					
約1	.0分				を見学します.	L	□引っ張り試験は出来ない場合					
				いて説明しま	引っ張り強度試験を す。	Ľ	がありますのでご留意下さい。					
約1	5分	□安全保護		倹			□数名の方に代表として装着していたがさます。					
		①安全带	ř				ていただきます。					
		②特殊へ	-ノレメット(消防	ち、レスキュー	、乗車用等)							
		※当社	土、茨城工場	で製造してレ	る特殊ヘルメットで	です。						
■ ‡	とめ等	:					1					
幼1	.0分	口所经代数		□目学味づけむ/ この味問に								
小カコ	.0);	□質疑応答		□見学時ではなく、この時間に 質問を全て受けます。								
約	5分	□まとめ			X1,702 (X1) 5(7)							
	を美施 際の	※上履きを持			~ M.V.M. ~ \110\		• 0					
注意	事項											
	への要											

					相馬市釦	È業等見学·	・体験学習プログラム2018			
企業等	名称		ソマ	株式会社		担当者 職・氏名	工場長 大槻幸市			
情		〒979-2512				電話番号	0244-36-3502			
報	住所	相馬市柚木	字一の坪86都	昏地		FAX番号 E-MAIL	0244-36-1764 kouichi.ootsuki@nagahori.co.jp			
	L 業等 既要	貴金属·宝飾	お品製造及び	発電(売電)事	事業	E-WAIL	ROUICHI.OUTSUKI@HagaHOH.CO.,p			
実施 時	期		特(こ定めなし		受入可能 学年等	小学校5年~中学校3年			
プロク 種	ブラム !別	見学型	体験型	総合型	出前型 (学校で実施する場合)	実施場所	相馬アトリエ			
1回	に受入	可能な人数	10名 (10名×3班)	1日に可能 実施回数		学習時間 (分)	60分~90分			
		,]容(概要)							
時	間		留意点							
■事	前説明	明等								
20	分	□案内ビデン□概要説明	才視聴							
■ 見	.学•体	験学習等								
	分 分)	□製造工程 ① ネック ② 指輪	ルス製造工程							
		※ 希望があればソーラー発電所の見学が可能となります(+20分)。								
■ ま	とめ等									
10	分	□質疑応答								
する 注意 (学校・	を実施 際の 事項 への要 事項)	□受け入れ。	人数について	「は、10名×3	班程度として見学	が可能です。				

					相	東市企業等	目学•休驗学	△習プログラム2018				
企 業 等	名称		相馬共同火	力発電株式会社		担当者職·氏名	管理部 副長	総務グループ 菊地 誠				
情		976-0042				電話番号	024	14-36-1200				
報	住所	福島県相馬市	 中村字塚ノ	町65番地の16		FAX番号	024	14-35-5866				
		振興ビル3階	皆			E-MAIL	m-kikuch	i@somakyoka.co <u>.jp</u>				
	業等 既要	火力発電に	よる電気の	卸供給事業(10	0万キロワッ	・ト2基の石	「炭火力発電」	· 新)				
	可能	*		対応可能 況等により日程は要認	ま 敷	受入可能 学年等		:校5・6年生 学校1年生				
プログ	<u>//!</u> グラム i別	見学型	体験型	総会刑	出前型 公で実施する場合)	実施場所		ランド・発電所				
·		L 可能な人数	最大80名	1日に可能な 実施回数	1回	学習時間(分)	90	分~150分				
			実	施可能学習フ	゜ログラムロ		[문)					
時	間				 留意点							
						1						
■事	前説明	月等										
9時	15分	□環境・エ	ネルギー教	室の概要,注意	事項の説明		□わくわくラ ます。	ンドホールで実施し				
(5	分)						□パンフレッ	ト等を配布します。				
							□開始時間は	変更可能です。				
■ 見	■ 見学·体験学習等											
9時20分 □講座 □休憩は2回(5分, 10分)となり												
	5分)	①当社部		: 発電所の概要に	ついて		ます。	(0), 10), 2 4 5				
(10	, ,,, ,		レギーと環境									
		,		トにより説明 聴(小学生以下	白 (4)							
		□光電別の		「「「「「「「「「「「」」」「「「」」「」「	[H] () /							
				いにする実験								
			組みについ									
			ば模型を使用									
				で羽根車を回転させ								
				, 木質バイオマ		サンプ						
				近に見ることが	できる。		,	て事前に班編成をお				
100	tor ()	□質疑応答					願いします。					
	まる5分 5分)	□発電所見 ① ター		~ 中央制御室	・~ サービ	スビル	□各班に分か	れて見学します。				
(00	, ,,,,,		(徒歩)	一人的呼至	. , _	, . <u> ,</u>						
			所構内 (バス 学前に写真れ	へ乗車) 最影可能(わくれ	っくランド女	関前)	□工事等によ る場合があり	り見学施設を変更す ます。				
			1 1111 - 2 > 11	100 (4- (4-	. , , , , _	1)41147	□予定より早	く終了した場合はわ				
11時	30分	□終了					くわくランド す。	の自由見学も可能で				
■ ま	■ まとめ等											
		□質疑応答	については、	講座と発電所見学	において、そ	れぞれ時間						
		を設けます。 いたします。	なお,見学時	Fの質疑応答につい	\ては,説明 <i>0</i>)際にお受け						
		□実施申込み	については, 目	程調整等が必要なた			下さい。					
	を実施	□各班の編成	は、事前に合き	十人数を伺ったうえで ,	当社から「○班	に分けて下さい	、」と依頼します					
	際の			こより行います。学校~								
_	事項への要			ごすが,事前に質問が 出が必要になります。								
	を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は		提出してください		コ 11111 (ロ) 7 (足)	·// A - M1400)	, み , ッノ C , 元子	*/				
				。 すので, 機器類には絶	色対手を触れない	小等,安全指導	をお願いします。					

						相馬市丘	È業等見学 [·]	・体験学習プログラム2018
+ 等	名称	相馬共同 新地発電	火力発電株 :所	式会社			担当者 職·氏名	わくわくランド
情		〒979-2611	·				電話番号	0244-62-4722
報	住所	福島県相馬	郡新地町駒	ヶ嶺字今神	11番地	の1	FAX番号	0244-62-5988
 企業 の概	美等 既要	火力発電に	よる電気の	卸供給事業	(100	万キロワッ	E-MAIL ト2基の石	 「炭火力発電所)
実施時	可能			対応可能 受入できない場	合あり		受入可能 学年等	小学校・中学校
プロク 種		見学型	体験型	総合型		出前型 で _{実施する場合)}	実施場所	わくわくランド、発電所構内
1回	に受入	可能な人数	大人数可 (バス 2 台程度)	1日に可能 実施回数		2回	学習時間 (分)	60分~120分
			実施	可能学習	ョプロ	グラム内	容(概要)	
時	間			内	容			留意点
■事	前説明	明等						
所要	時間	□発電所見	学 業務概	要説明		□わくわくランド等で実施		
(20	分)	□発電所の	紹介映像視	聴(小学生	:以下向	可け)		します。 □パンフレット等を配布し ます。
■見	.学•体	験学習等						
所要	時間	□発電所見			u /kn 📥	11 10		□人数に応じて事前に班編
(60	分)		-ビンフロア (徒歩)	~ 甲央市	削御至	~ サーヒ	スヒル	制をお願いすることがあります。
			f構内(バス 学前に写真打		わくわ	くランド玄	(関前)	□各班に分かれて見学をします。
								□工事等により見学施設を 変更する場合があります。
■ ま	とめ等							
所要	時間	□質疑応答						□説明会場へ戻り質疑応答
(10	*見学時の質疑応答は、説明の際も可					可		となります。
								□予定より早く終了した場合はわくわくランドの自由 見学も可能です。
学習を	生実施							! 早めにご相談下さい。 し、ご案内いたします。
する 注意 (学校/	際の	□見学は、ポ □当発電所に	大況により班線 は、危険な箇月	編成し見学い 所もあります	たしま 。十分	す。 な安全指導を	をお願いしま	

業等情報 企の施時グ別 実時が 1回時 事	上所	新地発電 〒976-2611 福島県相馬 火 見学型 列能な人数 3等 のエ事状況に	郡新地町駒よる電気の 随時、況により受入で体験型 4名 実施	ケ嶺字今神 御供給 可能できない場合が 総 回に可能	あります。 出自 (学校で実施 数 で で な な の 要望/	前型 ^{施する場合)} 1回 ^ブ ラム内	担当者職·氏名 電話番号 FAX番号 E-MAIL 受入可等 実施場所 学習時(分) 容(概要)	業務グループ 主任 泉田 かおり 0244-62-2201 0244-62-3451 k-izumida@somakyoka.co.jp 中学校1~3年生 新地発電所			
情報 企の施時グ別 1回時 事 場電 内 下	上所	福島県相馬 火力発電に ※** 見学型 可能な人数 3等 の工事状況に	郡新地町駒よる電気の 随受人で 体験型 4名 実施	卸供給事業 実施い場合が 総合型 1回に可能 実施回数 可能学習 内	あります。 出自 (学校で実施 数 で で な な の 要望/	前型 ^{施する場合)} 1回 ^ブ ラム内	FAX番号 E-MAIL 受入可能 学年等 実施場所 学習時間 (分)	0244-62-3451 k-izumida@somakyoka.co.jp 中学校1~3年生 新地発電所			
報 企の 機関 で	また。 説 本所	火力発電に ※# 見学型 可能な人数 可能な人数 の工事状況に	よる電気の 随時 (A)により受入で (体験型) 4名 実施	卸供給事業 実施い場合が 総合型 1回に可能 実施回数 可能学習 内	あります。 出自 (学校で実施 数 で で な な の 要望/	前型 ^{施する場合)} 1回 ^ブ ラム内	受入可能 学年等 実施場所 学習時間 (分)	k-izumida@somakyoka.co.jp 中学校1~3年生 新地発電所			
の概要 実施期 プログラム 種別 1回に受 時間 ■ 事前記 概発電所 内容に	能	火力発電に ※# 見学型 可能な人数 可能な人数 の工事状況に	よる電気の 随時 (A)により受入で (体験型) 4名 実施	卸供給事業 実施い場合が 総合型 1回に可能 実施回数 可能学習 内	あります。 出自 (学校で実施 数 で で な な の 要望い	前型 ^{施する場合)} 1回 ^ブ ラム内	受入可能 学年等 実施場所 学習時間 (分)	中学校1~3年生 新地発電所			
の概要 実施期 プログラム 種別 1回に受 時間 ■ 事前記 概発電所 内容に	説	※ 見学型 可能な人数 3等 の工事状況	随時 (本験型) 4名 実施	実施可能できない場合が、 総合型 1回に可能 実施回数 可能学習 内	あります。出自の学校で実施ななります。	**** 内 1回 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学年等 実施場所 学習時間 (分)	新地発電所			
時期 プログラム 種別 1回に受 時間 事前記 職衆電所 内容に	公 説 本験内	見学型 可能な人数 3等 の工事状況に	を は は り 受入 ・	できない場合が 総合型 1回に可能 実施回数 可能学習 内	出前(学校で実施ななな)というの要望に	**** 内 1回 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学年等 実施場所 学習時間 (分)	新地発電所			
種別 1回に受時間 ■ 事前記 職場体所 内容に	受入道	可能な人数 3等 の日程、日数 の工事状況に	4名 実施 実 施	1回に可能 実施回数 可能学習 内	なり、クログを	**** 内 1回 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学習時間 (分)				
時間 ■ 事前記 職場体 発電所 内容に	説明本験所内	月等 の日程、日数 の工事状況に	実施	実施回数ででは、学校からは、学校から	マの要望に	うム内	(分)	留意点			
■ 事前記 職場体 発電所 内容に	説明本験所内	の日程、日数の工事状況に) 数等について	内は、学校から	を の要望に		容(概要)	留意点			
■ 事前記 職場体 発電所 内容に	説明本験所内	の日程、日数の工事状況に		は、学校から	らの要望に	こより、そ		留意点			
職場体発電所内容に	本験 所内	の日程、日数の工事状況に				こより、そ	-				
発電所内容に	听内	の工事状況は				により、そ					
■ 見学・	職場体験の日程、日数等については、学校からの要望により、その都度対応いたします。 発電所内の工事状況により、対応できない場合がありますので、事前にご確認ください。 内容については、以前対応した職場体験の別添『中学校職場体験』「スケジュール」をご参照ください。										
	■ 見学·体験学習等										
■ まとめ	め等										
学習を実施 する際の 注意事項 (学校への) 望事項)			合せをお願い は, 危険な箇		、十分な多	安全指導を	≥事前に行って	こください。			

						相馬市1	企業等見学	- 体験学習プログラム2018		
企 業 等	名称		ニダック	精密株式会		担当者 職·氏名	係長·広瀬 裕司 常務·岩崎 健司			
情		〒979-2512)				電話番号	0244-36-6620		
報	住所	福島県相馬	市柚木字一	の坪105番地	Ø8		FAX番号	0244-36-1933		
		шшэл (тала	The liberal of the li				E-MAIL	<u>affairs@nidakseimitsu.co.jp</u>		
	業等 既要	精密鋳造品	の製造販売,	主に航空・写	当宙,阿	占衛機器等の	部品を供給し	ている。		
	可能期		2016	5.5月~7月			受入可能 学年等	中学校1~3年生 ※小学生は不可		
	ブラム 別	見学型	体験型	総合型		出前型 で実施する場合)	実施場所	相馬工場		
1回	に受入	可能な人数	30名	1日に可能 実施回数		1回(午前)	学習時間 (分)	約100分		
			実旅	_ 西可能学習	ョプロ	コグラム戌]容(概要))		
時	間			留意点						
■ 事前説明等										
	10分	□はじめの打 □事業内容		:応答				□第一工場集会室にて実施,企業パンフ,資料等を配布しま		
(30分) □事業内容の説明・質疑応答								す。 □グループごとに整列して説明 を聞きます。 (1グループ5名~6名) □展示品には一部を除き手を触 れても結構です。		
■ 見学·体験学習等										
	·40分 ·分)	□班ごとに専 ①ワックス ②サックス ③鋳型の説 → 移 ④仕上の説 ⑤最終検査	型の説明 - 立の説明 明 - 動 明 -	 第一工場 第二工場	班スター	-h)		□班ごと担当者1名を配置します。 □3分ごとに各班が見学を スタートします。 □製造ライン要所で担当者 より説明します。 □製品等には手を触れない ようにしてください。		
	とめ等							To the Valle and the State of t		
	20分	□質疑応答 □児童生徒 □おわりの持	より感想発表		□事前提出の質問等に答え ます。					
する 注意 (学校·	で習を実施する際の □ 新に班編制をお願いします。 □ 当社は製造工場ですので危険な箇所もあります。十分な安全指導を事前に行ってください。 □ 見学者全員の名簿を事前に提出してください。(名前・学年・学校名等) □ 携帯電話・スマホ及び撮影機能がある機器は工場内には持ち込めません。(車内などに置いてください。)									

						相馬市	ī企業等見 :	学・体験学習プログラム2018		
企業等	名称			ド工業株式:	会社		担当者 職·氏名	総務課主任·猪狩 治良		
情		〒976-0003					電話番号	0244-26-3411		
報	住所	海 阜圓相匡	市塚部字新坂	赴下11釆6			FAX番号	0244-26-3476		
							E-MAIL	<u>somu@fuji-mold.jp</u>		
	業等		を成形する							
	既要	主なプラスチ	ック製品はカ	メラ部品・医療	寮用部品	品・自動車部				
時	可能 期		9)	月~10月			受入可能 学年等	中学校1~3年生		
	ブラム 別	見学型	体験型	総合型	(学校で3	前型 施する場合)	実施場所	相馬工場		
1回	に受入	可能な人数	希望30名迄 (若干名超過可)	1日に可能 実施回数		1回 午前or午後)	学習時間 (分)	60分		
実施可能学習プログラム内容(概要)										
時	間			内	容			留意点		
■ 事	■ 事前説明等									
25	5分	□企業の概要・業務内容, 製品の紹介, 海外グループの紹介 □品サンプルを実際に見て触れる体験学習 □見学にあたっての注意事項(安全指導)						□会議室にて実施します。 □プロジェクタを使用します。 □サンプルは製品部品やカメラのズーム機構部分を使 用します。		
■ 見	見学∙体	験学習等								
28	5分	①展示製品。 ②金型設計。	受示品や製造及び展示金型。金型部品加ラスチック成形	型の説明 I工, 金型仕」		□1班10名以下で3班編成し、で3班編成し、担当者1~2名が正担当者1~2名が記されます。 □3班同時に、各々スターを支援を表して見場がで3地で見場ので見場ので見場のでは越るので業内を見出がられるがあります。 世級があります。 は、近の名があります。 は、近の名があります。				
■ ま	とめ等									
10)分	□質疑応答 □2~3名の	生徒からの感	想		□説明後や見学後の新たな疑問・質問も受けつけます。				
する 注意 (学校	を実施 際の は事項 への要 事項)	□見学は、20名以下であれば2班編成、20名超であれば3班編成としますので、事前に班編成								

					相馬市:	企業等見学	・体験学習プログラム2018
企業等	名称		ダウ・ケミカ	ル日本株式	会社	担当者 職・氏名	工場長・立谷 重巳
情		〒976-0005				電話番号	0244-38-7801
報	住所	相馬市光陽-	一丁目2番3号	를		FAX番号	0244-38-7732
企業	坐坐	イオンな協は	#胎の制造 -	一般の水加油	から電子産業田超	E-MAIL Mixの制造	Stachiya@dow.com 食品分野, 反応触媒
の根	既要	など多岐に用			Eがり电丁座未用だ		及四万到,汉心烛殊
実施時	期		特に時期	の指定はない	- 	受入可能 学年等	中学校1~3年生
プロク 種		見学型	体験型	総合型	出前型 (学校で実施する場合)	実施場所	相馬工場
1回	に受入	可能な人数	20名	1日に可能 実施回数		学習時間 (分)	120分
			実施	可能学習	ョプログラム 内	容(概要)	
時	間			内	容		留意点
■事	前説明	 阴等					
10時	00分	□工場見学の					□会議室にて実施します。
(30	分)	□会社概要• □見学内容@		説明			□企業パンフを配付します。
		口兄子 谷(ク説明				□担当者から詳細を説明し ます。
							ω <i>γ</i> ,
■ 見学・体験学習等 10時30分 □班ごとに製造設備を見学 □10名ごと2班編成							
		□址ことに製□水処理設(字			□10名ごと2班編成。班ご とに担当者1名が配置され
(1時	計間)	□コントロー		造工程の説明	Ħ		ます。
		□製品分析□					□2つのコースに分かれて
							見学します。
	144						
	とめ等						
11時	00分	□質疑応答	ト N 口 相 マシ 士				
		□児童生徒。	より愍忠発衣				
学習を	生生体	□化学品を担	Bっていろの [~]	で、事前に安	全に弊社社員に従	うように指道順	<u>!</u> 動います。
子音を		1_ 1_ 1_ 1_ 1_ 1_ 1_ 1_ 1_ 1_ 1_ 1_	~ > < \ .0 \ /	、, 于 川 () 女	ユ-1-71 エ エ541-1人	ノンン(こ)口子が	×. 5.70
注意	事項						
(学校/ 望事							
- - 7	24/						

						相馬市企	と業等見学 ・	・体験学習プログラム2018			
企業等	名称		ダウ・ケミカ	ル日本 株式	会社		担当者 職·氏名	工場長・立谷 重巳			
情		〒976-0005)				電話番号	0244-38-7801			
報	住所	相馬市光陽	一丁目2番3号	-			FAX番号 E-MAIL	0244-38-7732			
企業	上	イオン交換権	射脂の製造。				E-MAIL	Stachiya@dow.com			
の相			理から電子産	業用超純水	の製造	,食品分野,	反応触媒なる	Ľ.			
実施 時	期		特に時期	の指定はない			受入可能 学年等	中学校1~3年生			
プロク 種		見学型	体験型	総合型		出前型 ②実施する場合)	実施場所	相馬工場			
1回	に受入	可能な人数	5名	1日に可能 実施回数		1回	学習時間 (分)	330分			
実施可能学習プログラム内容(概要)											
時	間			内	容			留意点			
	前説明	月等									
9時()0分	□安全講習	集中 土 口 の	⇒光 □□		□会議室にて実施します。 □企業パンフを配付します。					
(60	分)	□会任慨要□公長	製造工程の の説明	記明				□企業ハンノを配付します。 □担当者から詳細を説明しま			
								す。			
■ 見	■ 見学・体験学習等										
10時	00分	□工場設備						□工場の製造工程について簡			
(4時	計間)	□製品分析 □製品の分	内容の説明 析業務体験学	 图				単な説明があります。 □実際に分析装置を使用しま			
			VI 7K407 IT-40K 1					す。			
■ ま	とめ等					1					
15時	00分	□質疑応答									
(30	分)	□児童生徒	より感想発表								
学型之	生実施	□化学品を	扱っているの	で,事前に宏	全に弊	社社員に従	うように指導原	<u> </u>			
する	際の	_,_, нист		, , , ,,,,-,	· ->1	,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
注意	事項 への要										
望事											

						相馬市1	企業等見学	・体験学習プログラム2018		
企業等	名称		三星化学工	工業(株)相馬	工場		担当者 職·氏名	業務係長・中山 正一		
情		〒979-2511					電話番号	0244-33-5131		
報	住所	相馬市蒲庭	字孫日980悉	: +4/1			FAX番号	0244-33-5130		
		山山州州	1 1V U 200 E	70			E-MAIL	souma@mitsuboshi-chem.co.jp		
	業等 既要	有機顔料製	造 印刷化	/キ等の原料	を製造	しています。				
時			10.	月~11月			受入可能 学年等	小学校6年生 中学校1~3年生		
	ブラム !別	見学型	体験型	総合型		出前型 実施する場合)	実施場所	相馬工場		
1回	に受入	可能な人数	30名	1日に可能 実施回数		1回(午後)	学習時間 (分)	60分		
実施可能学習プログラム内容(株										
時間 内					容			留意点		
■事	前説明	月等								
13時	30分	□企業の概						□厚生棟にて実施します。		
(15	分)	□見学に際Ⅰ	しての注意事	項				□資料等を配付します。		
, i	, ,									
■ 見										
13時	45分	□班ごとに製	造ラインを見	学				□10名ごとに班編成し、班		
(30	分)	□製造工程の						ごとに担当者1名が配置さ		
(00	737	□排水処理						れます。		
		□検査体制の	22説明					□要所で担当者より説明が		
								あります。		
■ ま	とめ等	:								
14時	15分	□質疑応答								
(15	分)	□児童生徒。	より感想発表							
(,,,									
学習	を実施			Xまたはメ						
	際の	□見学は10								
	事項への要							見学前には注意事項の説		
	事項)	明もします	か,女生指	骨を争削に	.仃つで	、くたさい。				

					相馬市企	業等見学□	体験学習プログラム2018		
企業等	名称	ハクゾウ	メディカルテ	クノス株式会社	土 福島工場	担当者 職口氏名	工場長・福田 雅樹		
情		〒976-0005				電話番号	0244-26-5148		
報	住所	相馬市光陽	二丁目2番地	<u>1</u> の1		FAX番号	0244-38-6625		
	上 美等 既要	主に,病院な	どで使われ	る注射の時に	皮膚を消毒するアク	E-MAIL ルコール綿を	<u>fukuda@hakuzo.co.jp</u> 製造している。		
実施時	可能	年	末年始, 長期	引休暇前後以	外 随時	受入可能 学年等	小学校5~6年生 中学校1~3年生		
プロク 種	ブラム 別	見学型	体験型	総合型	出前型 (学校で実施する場合)	実施場所	福島工場(相馬)		
1 🛭	に受入	可能な人数	10名	1日に可能 実施回数		学習時間 (分)	45分		
		,	実施可	可能学習	゚゚プログラム[内容(概要	要)		
時	間			内	容		留意点		
■事	前説明	明等							
10時	00分	□会社概要	説明				□会議室にて実施します。		
(10	分)	□商品紹介 □見学に際し	ての注音車	т百					
	見学口体験学習等 寺10分 ┃□製造現場見学 □製造現場が見えるところで								
		□製造現場』 □製造品の記					□製造現場が見えるところで説明を行います。		
(20	分)		00,01				1215 116 2 2 2 0		
= ‡	とめ等								
		□質疑応答							
(15									
(10)1)								
学習?	生実施	□当社は医	薬品を取り	扱う製造工	場で,クリーン	な環境の中	<u>.</u> での生産を行っていますの		
する 注意	を実施 □当社は医薬品を取り扱う製造工場で、クリーンな環境の中での生産を行っていまで、作業室内への入室の際には、手洗いや着衣などの指導を行います。 「事項 への要 事項)								

					相馬市	企業等見学	- 体験学習プログラム2018	
企業等	名称	ふくし	ま未来農業協	同組合(JA)	ふくしま未来)	担当者 職·氏名	そうま地区本部 営農経済担当部 指導販売課	
情報		〒979-2442			電話番号	0244-67-2702		
	住所	南相馬市區	电島区横手字	川原185番埠	FAX番号 E-MAIL	0244-67-2548		
企業の概	-	農業等に関	して農作業体	験をすること	ができます。	E-WAIL		
実施 時		年	F間(事業内容	Fによるため!	要相談)	受入可能 学年等	小学校4~6年 中学校1~3年	
プログラム 種別		見学型	体験型	総合型	出前型 (学校で実施する場合)	実施場所	各農家	
1 🗇	に受入	可能な人数	要相談	1日に可能 実施回数	TH TH =30	学習時間 (分)	120分	
			実施	可能学	習プログラム内	容(概要)	
時	間			留意点				
■事	前説明	月等						
電話などで 相談		→JAより	で大まかな日程 9各品目部会 農家で受入日	I 連絡	□体験場所(農家選出)や体験品目によって時期が違うため体験予定日から1ヶ月前までに連絡してください。			
■ 見	.学•体	験学習等					·	
10:0 12:	:00	□ 準備 □ 農作業体験					□担当者より活動内容を説明します。 □準備物・持参物は長靴・ 手袋 ・作業着(汚れても良い服)	
15:		です						
■ まとめ等								
各学	級で	□ 振り返りカードなどを記入 □ 児童・生徒からの感想発表						
学習で する 注意 (学校/ 望事	際の 事項 〜 の要	□日程は, 9	要相談になり i	きす。(時期に	こよって品目が変わる	るため)	1	

相馬市企業等見学・体験学習プログラム2018										
企業等	名称		ま未来農業協	同組合(JAA	ふくしま未み	来)	担当者 職·氏名	そうま地区本部 営農経済担当部 直販課 荒昌司		
情		〒979-2442	}		電話番号	0244-67-2702				
報	住所	南相馬市周	电島区横手字	川原185番地	FAX番号	0244-67-2548				
	上 企業等 の概要 農業等に関して農作業体験をしたり,販売体験をしたりする。						E-MAIL ることができる	<u>ara-ma@ja-f-mirai.or.jp</u> きす。		
実施可能							受入可能	小学校4~6年生		
時期		年	F間(事業内容	学によるため 5			学年等	中学校1~3年生		
プログラム 種別		見学型	体験型	総合型	出前 (学校で実施		実施場所	体験場所:JAふくしま未来 ふれあい旬のひろば(中村二小前)		
1 🗇	に受入	可能な人数	3~4名	1日に可能 実施回数	<u></u>	要相談	学習時間 (分)	120分		
			実施	可能学習	冒プログ	ブラムは	容(概要))		
時	間			留意点						
■事	前説明	月等								
	などで 談	□ 体験場所:JAふくしま未来 ふれあい旬のひろば(中村二小前)						□受け入れ可能時期は「6月・7 月・10月~12月」です。		
■ 見	.学•体	験学習等								
10:0 12	00~ :00	□ 販売体験						□担当者より活動内容を説明します。 □準備物・持参物はエプロンです。 □元気に挨拶をしてください。 「いらっしゃいませ」 「ありがとうございました」		
■ ま	■ まとめ等									
各学	級で	□ 振り返りカードなどを記入 □ 児童・生徒からの感想発表								
する 注意 (学校/	事項		要相談になりま そでは生産者に							

		相馬市企業等見学・体験学習プログラム2018									
企業等	名称	ふくし	ま未来農業協	词組合(JA	ふくしま	未来)	担当者 職·氏名	そうま地区本部 地域支援課 地域支援係・佐藤 文宏			
情報		〒979-2442			電話番号	0244-67-2551					
	住所	南相馬市區	电島区横手字	川原185番	地の1		FAX番号 E-MAIL	0244-67-2545			
企業 の概	-	学校の農業は	にかかわる授	業に出前講	摩を行い	<i>い</i> ます。					
実施可能 時期		年	F間(事業内?	容によるため	要相談)	受入可能 学年等	小学校・中学校 全学年			
プログラム 種別		見学型	体験型	総合型	学校工	出前型	実施場所	各学校			
1回に受入		可能な人数	要相談	1日に可能な 実施回数		要相談	学習時間 (分)	90分			
実施可能学習プログラム内容(概要)											
時	間			内	容			留意点			
■事	前説明	月等									
電話が相		,, ,,,,,,,	学習(プランジ	□2時間続きでお願いします。 (1校時目は除く) □可能な野菜 (トマト・ナス・・ピーマン・ キュウリ・オクラ・サツマイモ)							
■ 見	.学•体	験学習等									
9:0 10:		□ 野菜の苗 □ 野菜の苗 □ 後片付け		J				□担当者より活動内容を説明 します。 □苗などはJAで用意します。			
■ ま	とめ等										
各学	級で		カードなどを記 徒からの感想								
学習? する 注意 (学校/ 望事	際の 事項 へ の要	□日程は, 要□JAふくしまたいです。 例えばバケ ① ① 稲を育	E未来としてん 見察目的とする アツ稲であれん 育てる→②管野	ます。JA各〜 は,食農教 る(食さない ば以下のよ 理授業→③↓	イベント で 本 事場 は は し 後 → ④ は し は し は し は し し は し は し は し に は し に は し に は し に は し に は し に は し に は し に は し に に し に に に に に に に に に に に に に	・行事等と目 「作物を作る の栽培は行え していただく おにぎり等で	日にちが重な 5」→「食べ さません。 このが理想で で食す。	らなければ大丈夫です。 る」ところまで授業として行い			

						相馬市企	·業等見学·	・体験学習プログラム2018
企業等	名称	ふくし	ま未来農業協	易同組合(JA、	ふくしま未	来)	担当者 職·氏名	そうま地区本部 地域支援課 地域支援係・佐藤 文宏
情		〒979-2442			電話番号 FAX番号	0244-67-2551		
報 住所		南相馬市脚	电島区横手字	0244-67-2545				
 企業 の相	-	学校の授業は	に出前講座を	行います。	E-MAIL			
実施可能 時期		年	F間(事業内)	容によるため	要相談)		受入可能 学年等	小学校•中学校
プログラム 種別		見学型	体験型	総合型		前型 施する場合)	実施場所	各学校
1回	に受入	可能な人数	要相談	1日に可能 実施回数		要相談	学習時間 (分)	90分
			実施	可能学習	プログ	ブラム内	容(概要)	
時	間			留意点				
■事	前説明	月等						,
電話力相		□ 米粉料理□ 体験に際	教室 しての注意	□2時間続きでお願いします。 (1校時目は除く) □可能な料理 (パンケーキ・蒸しパン・お好み 焼き・ゆべし・ピザ・桜餅・団子)				
■ 見	,学•体	験学習等						
10:(11:		□ 準備 □ 料理の仕 □ 調理・実: □ 後片付け	食					□担当者より活動内容を説明します。 □準備物・持参物はエプロン・三角です。 □家庭科室の調理器具全般を使用します。 □1度にできない場合は、日にちをずらして行うことも可能です。
■ まとめ等								
各学	級で	□ 振り返りカードなどを記入 □ 児童・生徒からの感想発表						
学習を する 注意 (学校/ 望事	際の 事項 〜 の要	□日程は, 勇 □活動は「労		ます。JA各イ	ベント・	行事等と目	日にちが重な	す。 らなければ大丈夫です。 として必要なため一部頂戴しま

	相馬市企業等見学・体験学習プログラム2018									
企 業 等	名称		福島県水	(産資源研究	訴		担当者 職·氏名	生産部総括	大和田 淳郎	
情 報		〒976-0005	5		電話番号	0244-	32-0330			
	住所	和軍古米四	一丁目1番地	D14	FAX番号	0244-	32-1332			
		作场印几物] 日1街地	7714	E-MAIL	<u>fssailbai@</u>	yahoo.co <u>.jp</u>			
企業 の概	•	太陽光発電	電力の地産地	消型ビジネ	スモデ	ル構築, 余剰	電力の水素	・熱への転換		
実施		通年(見	学希望の魚種や	内容によって,	適切な	時期あり)	受入可能 学年等		3~6年生 1~3年生	
プログ 種!		見学型	体験型	総合型		出前型 で実施する場合)	実施場所	施	設内	
1回	に受入す	可能な人数	見学:50名まで 体験:10名未満	1日に可能 実施回数		要相談	学習時間 (分)	見学は30分	分~60分程度	
			実施	可能学	習プロ	コグラムは	內容(概要))		
時	間			内	容			留	意点	
■ 見	学•体縣)								
□体験	内容									
	小学生		i 生産」の様子 ラメ・アユ・アリ		様子を	学習)		□実際に魚にか きません。	触れることはで	
								□ヒラメ卵・クカーで見るこ	仔稚魚をビー とはできます。	
*			温に維持された は,隣接する村						分~1時間程度	
			然海水と合わ					かかります。	75 I 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
でも、成長を促すことができるところが、温海水のメリットです。 □1回の見学は、50人までが可能です。										
	中学生対象:「種苗生産」に関わる作業体験 (職業に関する興味関心の伸長) □1回の体験は,10人未満が 可能です。									
								□作業内容等 前に相談が必	については,事 要です。	
■持	参物等							•		
	筆記月									
	— 113 /									
■ まと	∠め等									
		□種苗の生産	金 扮流 苔属	∜管理に関わ	ろ作業	をしている場	島所であるこ	<u> </u> とから 「防疫」	が最重要な課題	
学習を する!! 注意:	祭の 事項	となります。 します。 □受け入れは (適切な時期 □受け入れる	よって、見きな、通年行うこと期の目安:ヒラ可能な時間帯	学・体験の際 かできますが ラメ3~8月・ は、10時~16	意事項につい か内容によって アワビ通年)	て,事前に電話等は,適切な時期が	等で相談をお願い こうしゅう			
要望		□小学生の見施する等, <i>□</i> □東日本大窟	質問に対しては回答が可能です。事前に質問事項をまとめて,知らせてください。 小学生の見学人数が,50人以上の場合は,人数を半分に分け,相馬市火力発電所の見学と並行しまる等,人数の調整が必要になります。 東日本大震災の影響により,現在,施設を再建設中です。本格的な再開は,平成31年度となりま 学・体験の受け入れは,平成31年の秋(早くて夏)からとなる予定です。							

